



Illustration by Geff Read

この冊子は、かつて路上生活をせざるを得なくて結核になって  
なお治った方々の協力でできました。

はっこう しんじゅくほ ー むれす しえんき こう  
【発行】新宿ホームレス支援機構

しんじゅくくたかだのぼぼ せき  
新宿区高田馬場 2-6-10 関ビル 1階

でんわ 電話 03(5812)4850

ふあつくす FAX 03(5812)4850

E-mail : YHY07064@nifty.com

けっかく  
結核のしおり

第5号  
2010年3月作成



Illustration by Geff Read

# だい しょう 第1章 はじめに

## とうきょう のじゆくもんだい はじ 東京の野宿問題の始まり

この「結核のしおり」は、東京都内で、路上生活を送っていた  
リネットカフェなどで寝泊まりしておられる方々にお配りします。  
野宿をする方が増え始めたのは、東京では、平成3年、新宿に  
都庁が移転してきたころです。当時は、山谷、上野駅、新宿駅な  
どでしか自立していませんでした。高度経済成長を経験し、貧困  
やスラムの問題は日本にはもう存在しないと考えられていたの  
で、いくらバブル経済が崩壊したと言っても、野宿をするような人が  
出現するなどということは当時はなかなか信じられませんでした。

それから20年が経ち、平成9年の世界不況や派遣労働の広がり、  
平成20年のリーマンショックなどがあったために、職や住まいを  
失い生活に困る人の数は増え続け、ホームレス問題は日本社会の  
大きな社会問題であると考えられるようになってきています。み  
なさんが、路上生活から脱出するための事業も徐々に増えつつあ  
ります。

## じりつしえん 自立支援センター

東京には、住む所がない人が就職できるよう自立支援センター  
という施設が作られています。緊急一時保護センターというシェ  
ルターにまず入所し自立支援センターにすすむのです。23区内の  
福祉事務所が受け付け窓口になっています。現在都内に5か所あ  
りますが、リーマンショック以来、どの自立支援センターもほぼ  
満員で、入所するためにはしばらく待たなければなりません。

## せいかつほご 生活保護

福祉事務所で申請します。  
宿泊所などの施設ではなく、アパー  
トに入居したい場合は相談のとき  
にはっきりそう言いましょう。ア  
パートの探し方やアパートが見つ  
かるまでの間のことなどについて  
も相談にのってもらいましょう。

## じゅうたくてあて 住宅手当

失業してから2年以内の方は、ハローワークで求職活動をして  
いることを条件に、9か月アパートの家賃が援助されます。区役所  
が窓口になっています。

そのほか、就職したいときは、TOKYO チャレンジネットとい  
う相談所が新宿区歌舞伎町にあり、住宅資金の貸付もしています。  
また、東京キャリアアップハローワークというところが新宿ハ  
ローワークの隣のビルにあるのですが、ここでは正社員を目指す  
非正規労働者の方を専門に支援しています。

## ひと けっかく ホームレスの人と結核

野宿の方は結核にかかりやすい、ということが保健所や  
結核研究所の調査から明らかになっています。その理由ものほ  
ど詳しく述べますが、結核は治療を受ければ治る病気です。みな  
さんが結核にかかっても、治療を受けて結核を克服なさることを  
ねがって、このしおりを発行いたします。



Illustration by Geff Read

## だい しょうけっかく 第2章結核について

### けっかく し 結核のことを知っていますか？

よく知られているように、結核という病気は、日本では撲滅されたと考えられていましたが、平成の初めから再び患者が増え始め、関係者のあいだで心配されています。平成12ごろからは全体としては患者発生数は落ちついてきているのですが、野宿の方や外国人労働者など、生活が不安定な人が結核にかかりやすい、ということがわかってきています。インターネットカフェでも結核の集団発生がありました。

野宿の方になぜ結核が蔓延するのが、原因はたくさんあります。ストレスが多い、栄養状態が悪い、周りに治療を中断した人がいることなどです。結核は早期発見、早期治療すれば必ず治る病気です。さらに、治療を中断することは結核の場合、たいへん危険なことです。薬が効かなくなってしまうのです。菌が強くなって、

不規則に薬をのむと薬の効かない耐性菌という菌になってしまふのです。早期治療すれば結核は治る、治療中断はたいへん危険だ、ということを入念に入れておいてください。



ひまわりの会による自立支援センターでの人形劇上演

### けっかく びょうき 結核ってどんな病気？

- 咳やタンが長くつづきます。ふつうの風邪だと1～2週間でよくなるのだけれど、結核の場合もつづくのです。2週間以上長引く咳は赤信号です。
- 咳・タンと同時に微熱が出たり、身体がだるくなることが多いです。

### ひと かか どんな人が罹りやすいか？

- 栄養状態の悪い人
- 昔、結核にかかって完全に治るまで治療しなかった人
- 糖尿病・腎臓病にかかっている人
- 胃を手術したことのある人

### けっかく しんばい 結核が心配になったら

- 2週間以上つづく咳など、症状のある方は、近くの福祉事務所にいき、そう言いましょう。結核のことがわかる病院などでレントゲンを撮る手配をしてくれます。費用はかかりません。
- 「路上結核検診」(野宿者のためのレントゲン検診)が実施されている地域もあります。保健所がチラシを配ったりなさるので、そのときはぜひレントゲンを撮ってもらいましょう。これも無料です。
- 他の病気の場合もそうですが、血を吐いたり、動けないほど苦しい場合は周りのなかまや通りがかりの人に救急車を呼んでもらいましょう。

### だい しょう けっかく ちりょう う なお たいけん 第3章 結核の治療を受けて治った体験

#### ちりょう 治療はどうすればいいの？

さいきん くすり はじ けっかく ちりょう う ひと  
最近はいい薬ができていますので、初めて結核の治療を受ける人  
のほとんどはこれらの薬をきちんと飲めば半年から1年以内に  
かんぜん なお くすり の  
完全に治ります。でも、きちんと薬を飲まなかったりすると、治  
らないばかりか薬が効かなくなってしまう。治療を途中でや  
めたりすると身体が弱ったときに、ひそんでいた菌が勢いを強く  
まえ わる しょうたい しゅじい なお  
し、前より悪い状態になってしまいます。主治医に「治った」と  
い ちりょう たいせつ  
言われるまできちんと治療をつづけることが大切です。

ちりょう ほうほう さいしよ すうしゅうかんにゆういん ひつよう ひと  
治療の方法としては、最初は数週間入院が必要ですが、その人の  
びょうじょう おう かよ くすり ほうほう つき たいいん  
病状にに応じて通いで薬をのむ方法もあります。2～3ヶ月で退院  
し、しゆくはくしよ す ほけんじよ まいにちくすり  
し、宿泊所、ドヤ、アパートなどに住んで、保健所などに毎日薬  
の かよ ほうほう いっぱんてき  
を飲みに通う方法（ドッツ）も一般的になってきています。

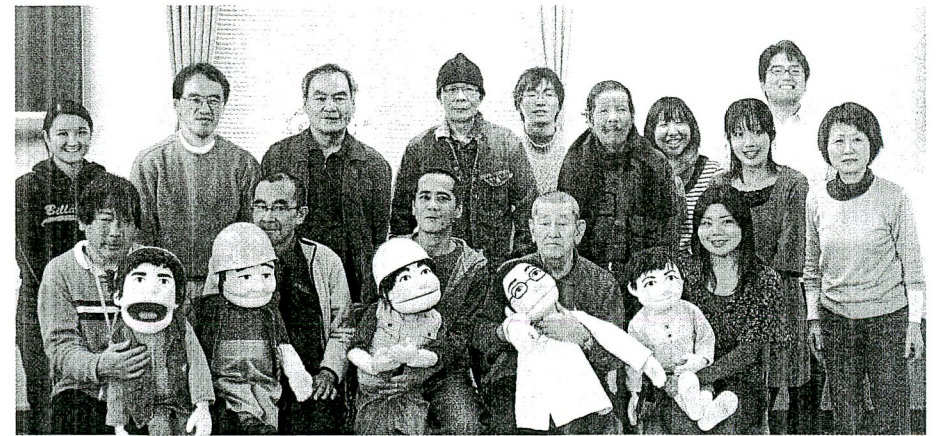
#### ひよう その費用は？

にゆういん ちりょう ひよう こうひ ふたん にゆういんちゅう  
入院や治療のための費用は公費で負担してくれます。入院中  
にちようひんひ せいかつほご しきゅう たいいん せいかつひ  
は日用品費が生活保護から支給されるし、退院すれば、生活費  
せいかつほご だ だい しょう たいけんだん  
は生活保護で出してくれます。第3章の体験談でわかるように、  
たいいん のじゆく せいかつほご う  
退院したあとは、野宿にもどらずに、生活保護を受けながらパー  
しごと かた  
ト仕事などをする方がほとんどです。

ろじょうせいかつ けっかく ちりょう お かた  
路上生活をしているうち結核になって、治療を終えた方たちが、  
「ひまわりの会」という会をつくって集まっています。「ひまわり  
の会」のメンバーの体験談です。

#### ◎ Aさん

びょうき けんこうほけんりょうはら さいす  
病気もしなくて、健康保険料払ってたんだけど、50歳過ぎるま  
けんこうほけんしょうも びょういん い こくみんけんこうほけん  
で健康保険証持って病院へ行ったことなかった。国民健康保険  
ていつも払うばかりで、なんだか損だなあと thought。自分が  
けっかく おも じぶん かたわくだいく  
結核になるとか100%思ってたわけ。自分は型枠大工なん  
だけど、ある工務店の現場に入るときに身体検査があって、「あなた、  
はい かげ はい い ほけんしよ おも きかい  
肺に影があるよ」って言われて、まさか!と思った。機械が  
こわ れてるとしかおもわなかった。保健所でお医者さんに「仕事しな  
ぐすり い  
がら薬のむのはたいへんだらうけどがんばってください。」と言わ  
れて、げんば か かえ き ほけんしよ い くすり  
現場が変わっても帰って来たら保健所に行って薬のんでた。  
3ヶ月くらいはまじめにのんだかな。仕事クビになって、お金は少



ひまわりの会では、結核についての人形劇を上演しています



ひまわりの会の食事会

しはあったけど、どこへ行けばいいかわからないし、新宿駅で「中央公園行けばいいよ。」と教えられた。脚のつけ根のヘルニアが腫れて歩けないし、中央公園のボランティアのお医者さんの紹介で

福祉事務所から病院へ行った。ヘルニアは手術しないといけないんだけど、結核やったことがあると話したら大騒ぎになった。患者としてコンピュータに登録されて、治療を中断していたのがばれてしまった。結核の治療を再開することになった。ドヤから保健所に通って、ドッツやって（保健師さんの前で薬をのむ。いろいろ話をしたりする）ドッツミーティング（薬をのんでいる患者さんのあつまり）にも出た。治療が終わったので仕事探すことになって施設に移った。お医者さんに「腰も悪いし、糖尿や骨粗しょう症もあるし、今までのようには働きませんよ。もう難しい仕事は無理ですよ」と言われて、福祉事務所の就労指導員と相談して、掃除のパートをやって3年になる。

新宿で歩けなかったときは、自分はもう、はっきり言って人生終わったと思った。働けるだけ働いてそれでダメならもういいやって頭だった。福祉にかかろうって気持ちはいっぱいなくて。福祉にかかる人はもっと困ってる人だと思ってたから。治療してもらったらあっと明るくなった。ドヤに入って薬のみなさい、と

言われたときはやっぱり安心して。

結核が治ってよかった。あのまま結核の治療をやめたままだったら、死んでたかも。耐性菌という強い菌になってしまうところだった。そういうことも治療を再開してから保健所でビデオみて知った。みな、結核だと言われてもたいしたことはないと思ってるんだ。だから、入院しても隠れて薬捨てちゃう人がいる。結核かかってるって言われても、自分で治療すると思ってる人がいる。こういうのはただでやってくれるとかそういうの分かんなかった。

### ◎Bさん

子どもは女房の姉にあずけて、二人で東京都内で飯場に入ってた。女房はまかない。42歳の区の節目検診で「影がありますよ」と言われた。叔父が結核やってたから「おまえ、俺のがうつったんじゃないか。」なんて叔父も言ってる。自分はそのときはいいかげんに考えて、薬を途中でやめちゃった。トビやってたもんで病院行くひまがなくて、薬きらしちゃって、もう自分から薬取りに行かなくなっちゃった。7年たってから、咳が止まらないときがあって、女房は持病で福祉事務所によく行くのでそのとき福祉事務所の人に「うちの人また結核じゃないだろうか。」と話した。病院へ必ず行くように言われたし、実際やっぱり結核だった。

新宿区内の生活保護の家族用施設（鉄筋で外見は都営住宅のような建物）に入って新宿区保健所のドッツに通った。家で薬のむのではなく保健師さんが見てくれてたし、患者どおしのあつまりにもよく参加したのがよかったと思う。こんどは最後まで治療できた。

結核ってもともと嫌われるもんだと思ってた。会社でも薬飲ん

でることは隠してた。单身用のドヤや宿泊所でもみんな隠れてくすりの薬飲んでる。でも排菌してなければうつることはないんだよね。新宿では、患者どおしや保健師さん、たくさんの人と知り合って、結核についていろいろわかったし安心して治療してた。

### ◎Cさん

ドッツが終わって、生活保護切って仕事にもどろろかなと思ってる。新宿区内の宿泊所に入って新宿区保健所に薬飲みに通った。前の会社の社長に会いに行ったら、宿泊所の寮長にも「出る」と言った。会社の寮に入るの、いったんこういうふうには会社に勤めちゃうと、「仕事に出てくれ」と言われれば無理してでも出るような生活になっちゃうから、ドッツの友達とかは、「生活保護切らないでやる方法はないのか。」と心配してくれるんだけど、やるしかない。

保健所や福祉事務所では、保健師さんやケースワーカーさんて、こっちから言わないとしゃべってくれない、どうしても話さなくちゃならない。それで、俺もずいぶん人と話できるようになった。会社では誰とも話さなくて、黙っていなくなるというのを5、6回やった。こんどは、会社で「結核うつすなよ。」とか嫌味言われても、かっとならないで静かに言い返せると思う。人の言うことよく聞けるようにもなったし。

### ◎Dさん

タクシー運転手やって、会社の検診で「肺に影があるから再検査が必要」と言われていた。借金問題で路上生活になって半年たったとき、厳冬期の2週間の太田寮に入った。次の日レントゲ

ン撮って「影がある」と言われ病院へ直行。排菌してるのがわかった。タンは出てたし寝汗もかいてただけど、路上生活やってる間に急激に悪くなってたんだな。ホームレスやってて、寒いでしょうしょうもねえなあと思って。死ぬことはないと言われたけど。実際は死ぬ人もいるよね。

退院してドヤから新宿区保健所に通ってドッツをやった。そのあと生活保護の就労支援専門の施設に移ってもとのタクシー運転手にもどった。借金のかたもついた。ドッツについて、薬くれればいだけなのに、毎日通わせるなんて、と悪く言う人もいるけど、自分なんかは投げ出しちゃうタイプだから、ドッツでよかった。このまま死んでしまうという不安はなかったけど。

結核治ったあと、気持ちの持ち方が変わった。入院しているときは、病院の人が親切にしてくれて、病気だから親切にしてくれるのはあたりまえだと思ったけど、それでもうれしかった。人間にはいい人もいるんだということを感じた。前は人は信用できないと思ってた。病気がよくなって自分も人にやさしくしてあげたいと思うようになった。結核になったのは不幸なことだけれど、全員が勇気をもって生活の立て直しをはかっているのがわかってもらえたと思う。



Illustration by Geff Read